

社会福祉士を取り巻く状況の変化

福祉ニーズの変化

社会福祉士制度創設後、社会福祉士を取り巻く状況は大きく変化

○バブル経済の破綻に伴う低経済成長

○急速に進行する人口構造の少子高齢化や世帯規模の縮小化

【増大化、複雑化する国民の福祉需要】

- ・増大する高齢者の介護ニーズ：身体介護に加えて、認知症への適切な対応
- ・ホームレスや生活保護の被保護者に対する自立支援
- ・増加する児童や高齢者虐待への対応
- ・障害者の地域生活支援 等

福祉需要へ対応するための社会福祉の分野における様々な制度改革

福祉・介護分野のパラダイム転換

社会福祉の実施体制の変化

社会福祉士制度創設期の低所得者を対象とする自治体の措置による
施設入所型のサービス提供体制

福祉関係八法改正
ゴールドプラン

- ・在宅福祉サービスと施設福祉サービスを市町村において一元的に提供するサービス体系への転換
- ・在宅福祉の積極的な推進による高齢者保健福祉分野の基盤整備

介護保険法
支援費制度

行政がサービスの配分を行う措置制度から、福祉サービス利用者の選択と自己決定に基づく、事業者と利用者との対等な契約関係による利用者本位の社会福祉への大きな転換

○社会福祉の対象は低所得者に限定したものから広く福祉サービスを必要とする者へと普遍化

○福祉サービスを利用する者の自立と尊厳を重視したサービスの提供

相談支援システムの変化

- 在宅介護支援センターの設置
- ケアマネジメントの導入
- 地域包括支援センターの設置
- 自立支援プログラムの導入と就労支援の重視

サービスの利用支援と権利擁護

- サービスの利用支援としての苦情解決や第三者評価等
- 権利擁護活動と成年後見活動等

社会福祉経営の変化

- 社会福祉経営における説明責任、法令遵守、ガバナンスの確立や経営能力の向上
- 社会福祉法人、NPO法人、株式会社等の経営主体の多様化
- 個人情報保護法の施行

その他の変化

- 福祉に関する計画の策定と実施
- 独立型社会福祉士の登場(介護支援専門員、成年後見人等)
- 社会福祉士の社会復帰調整官としての位置づけ(医療観察法)
- 診療報酬における社会福祉士の評価(回復期リハビリテーション病棟入院料等)